

高島市長

福井正明様

## 独自目標監査報告書

令和2年1月10日

主任監査員 足立 清勝

副主任監査員 上原 幸雄

### 1. 監査日

令和元年10月29日（火）

### 2. 監査対象

高島市

### 3. TES 監査内容

独自目標(平成30年度実績)監査

- ① エコアクション（環境活動）部門 第1ステージ
- ② エコマネジメント（環境経営）部門 第1ステージ
- ③ エコガバナンス（環境自治）部門 第1ステージ

### 4. 監査結果

項目別達成状況				TES 項目別評価	
項目番号	内容	目標値	達成状況※1	部門（項目番号）	評価※2
a101	電気使用量の総量	H29 年度実績より削減	○	① エコアクション部門	△
a102	灯油購入量の総量		○		
a103	LPG 購入量の総量		○		
a104	A 重油購入量の総量		○		
a105	可燃ごみ排出量		×		
b101	環境に関する研修開催回数	年1回以上	○	② エコマネジメント部門	○
c101	公開する環境情報の回数	年12回以上	○	③ エコガバナンス部門	○

※1 達成状況：○=達成 ×=未達成

※2 評価：○=良好 △=軽微だが改善すべき点あり ×=勧告に値すべき点あり

(監査項目に対する○の割合が80%以上なら○、60~80%なら△、60%未満なら×と評価)

## 5. 所見

### 総合所見

高島市未来へ誇れる環境づくり推進委員会会議において、平成30年度高島市環境マネジメントシステムの独自目標数値について、点検・評価を行いましたので、ここに報告いたします。

1. 独自目標につきましては、昨年度同様に職員の方々が省エネルギーの意識を持って取り組まれていると思われまます。平成30年度はa105 燃やせるごみの項目は達成できておりませんが、a101 電気、a102 灯油、a103 L P G、a104 A 重油およびb101、c101の項目は達成されています事をご報告いたします。
2. ごみ量の削減を含む、a105 燃やせるごみの項目については、昨年度を上回るごみ量が排出されておりました。原因としては、庁舎移転に伴うごみの増大などが様々考えられます。前年度実績より削減となっていることを目標設定することが続いていたことから、一定の限界に達したということも考えられるものの、ここ数年微増が続いております。今後は事務の電子化が進み、ペーパーレスが見込まれるものの、改めて職員ひとりひとりがごみ削減・資源化の意識を持つことが必要になってくるかと思ひます。

#### (監査員総評)

独自目標の平成30年度の結果について点検、評価を行いました。

職員、職場の環境マネジメントの取り組みはすでに定着していると感じました。数値では表せない職員の職場での取り組み姿勢や努力を評価します。

目標に達していない項目がありますが、前年度実績より削減する目標が続いたことから、一定限界に達したのではないかと考えられます。

今後、これ以上の目標数値の削減をすることを目標にするのであれば、まずはこれまでどのような手法を用いて数値削減に取り組んできたのかを整理し、これ以上の削減・取組み改善の余地があるのかないのかを検討したうえで、目標を設定すべきであると思ひます。

また、取り組む上では市民サービスの低下、ならびに職員のストレスにつながらないように実行することが必要です。特に昼休み時間の消灯は来庁者からすると職場の印象が暗く、高齢者や障がい者にとっては歩行の安全性を脅かすことにもつながりかねません。数値を目標にするのではなく、多様な立場の方に配慮した人にも環境にも優しい取り組みを実施していただきたいと思います。

ごみ減量、再利用など市の職場では徹底されていますが、市域全体の削減意識が高いとは言えないことから、高島市の取り組み（環境マネジメントシステム）をもっと市民に広げていただきたいと思います。

元々、この取組みのスタートは市役所がモデルとなり、それを市民や他の企業に伝えることで、高島市全体からの地球環境への負荷軽減につなげていくことを目的にしていたと思ひます。今後は周知する体制を整えていくことが必要です。

内容を広報する際には、ごみ処理する際にどれだけの税金が賄われているのかなど、量や金額を具体的に示すほうが、わかりやすいと考えられます。